＜地域型住宅グリーン化事業に対する取組み＞（長寿命型・高度省エネ型・省エネ改修型・優良建築物型共通）　＜様式3－1＞

## Ⅰ．平成30年度の取組みの実績

| | |
|---|---|
| グループ名称 | WB HOUSE 兵庫 |
| H30採択グループ番号 | ― ― |

A H30年度にグループとして力を入れた取組み

| | |
|---|---|
| 内容 | |

B 各種説明会・研修会の実施について

| | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| ①事業 | 事業実施説明会 | | 開催日 | | 名称 | | | | |
| | 内容 | | | | | | | | |
| ②消費者 | 消費者説明会 1 | | 開催日 | | 名称 | | | | |
| | 内容 | | | | | | | | |
| | 消費者説明会 2 | | 開催日 | | 名称 | | | | |
| | 内容 | | | | | | | | |
| ③工務店 | 工務店研修会 1 | | 開催日 | | 名称 | | タイプ | | |
| | 工務店研修会 2 | | 開催日 | | 名称 | | タイプ | | |
| | 工務店研修会 3 | | 開催日 | | 名称 | | タイプ | | |
| | 工務店研修会 4 | | 開催日 | | 名称 | | タイプ | | |
| | 工務店研修会 5 | | 開催日 | | 名称 | | タイプ | | |

C 未経験工務店へのサポートの実施について

| | | | |
|---|---|---|---|
| 取組み① | サポートの有無 1 | | |
| | 内容 | | |
| 取組み② | サポートの有無 2 | | |
| | 内容 | | |
| 取組み③ | サポートの有無 3 | | |
| | 内容 | | |

D 住宅履歴情報の蓄積について

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| ① 履歴情報預り証の発行件数 | 発行済 | | 発行予定 | | |
| ② 住宅履歴情報の保管先 | | 機関名 | | | |

E 工務店の廃業時のバックアップ体制について

| | | |
|---|---|---|
| ① 施工構成員の廃業に対する体制 | | |
| 内容 | | |
| ② H30年度における施工構成員の廃業 | | |
| 対応内容 | | |

F 住宅の省エネルギー化に向けた取組み

| | | |
|---|---|---|
| 省エネ化に対する取組 ① | | |
| 内容 | | |
| 省エネ化に対する取組 ② | | |
| 内容 | | |
| BELS工務店の登録数 | 0 社 | |

Ⅰ．平成31年度の取組みの計画
（1）グループの信頼性と技術力の向上に向けた取組みの計画

| グループ名称 | WB HOUSE 兵庫 | |
|---|---|---|
| H30採択グループ番号 | ― | ― |

A 各種説明会・研修会の実施について

| | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| ①事業 | 事業実施説明会 | 有 | 開催日 | 2019/06/18 | 名称 | 地域型住宅グリーン化説明会 | | |
| | 内容 | グループ設立の説明。<br>今年度の取組に関して、共通ルール・研修会の実施計画・申請方法の説明。 | | | | | | |
| ②消費者 | 消費者説明会 1 | 無 | 開催日 | | 名称 | | | |
| | 内容 | | | | | | | |
| | 消費者説明会 2 | | 開催日 | | 名称 | | | |
| | 内容 | | | | | | | |
| ③工務店 | 工務店研修会 1 | 有 | 開催日 | 2019/06/14 | 名称 | 姫路ジャパン建材フェア | タイプ | 見学会 |
| | 工務店研修会 2 | 有 | 開催日 | 2019/05/25 | 名称 | ナイス大感謝祭 | タイプ | 見学会 |
| | 工務店研修会 3 | 有 | 開催日 | 2019/07/13 | 名称 | WB HOUSE完成見学会 | タイプ | 見学会 |
| | 工務店研修会 4 | | 開催日 | | 名称 | | タイプ | |
| | 工務店研修会 5 | | 開催日 | | 名称 | | タイプ | |

B 未経験工務店へのサポートの実施について

| | | | |
|---|---|---|---|
| 取組み① | サポートの有無 1 | 有 | |
| | 内容 | 事務局が中心となり施工事業者・設計事務所に向けて定期的に研修会・勉強会を開催し、知識の共有、技術力の向上を図る | |
| 取組み② | サポートの有無 2 | | |
| | 内容 | | |
| 取組み③ | サポートの有無 3 | | |
| | 内容 | | |

C 住宅履歴情報の蓄積について

| | | | |
|---|---|---|---|
| 住宅履歴情報の保管先 | グループ | 機関名 | |

D 工務店の廃業時のバックアップ体制について

| | | |
|---|---|---|
| ① 施工構成員の廃業に対する体制 | 有 | |
| 内容 | 施工業者が廃業する事になっても、グループ内の施工業者が対応できる体制を構築することを目指す | |

E 住宅の省エネルギー化に向けた取組み

| | | |
|---|---|---|
| 省エネ化に対する取組み （新築） | 有 | |
| 内容 | 2020年省エネ説明義務化について、施工業者に向けてセミナーを実施する予定です。また、構成員は省エネ施工技術者講習会の参加を呼びかけます。 | |
| 省エネ化に対する取組み （改修） | 有 | |
| 内容 | 省エネ施工技術者講習会の参加を呼びかけ、リフォーム専門業者にも省エネ基準を意識させます | |

F 省エネ改修に関する研修の計画

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 研修計画 ① | 無 | 実施日 | | |
| 内容 | | | | |
| 研修計画 ② | | 実施日 | | |
| 内容 | | | | |

Ⅱ．平成31年度の取組みの計画
（2）地域型住宅及び生産体制の整備に関する計画

| グループ名称 | WB HOUSE 兵庫 | |
|---|---|---|
| H30採択グループ番号 | ― | ― |

A 提案する地域型住宅の特徴

| | | |
|---|---|---|
| 内容 | 本グループのエリアは兵庫県内及び近郊となり、提案する住宅の性能は省エネ効果・断熱効果を高める方法として、床・壁・屋根の外部に接する部分には通気層を二重に設置する事を義務付け、夏と冬の切り替えを行い、切り替えの際には、機械動力を使わず、必要となる換気口の開閉を外部環境に応じて連動が可能となる熱感知式形状記憶合金を採用とする（WB工法） | |

B 地域材の利用に関する共通ルール

| ①-1 1棟当たりの主要構造材地域材の使用割合 | 50%未満 | ■ | 50%以上 | | 80%以上 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|

| ①-2 地域材の使用部位 | | | ② 地域材の利用に関する補足説明 |
|---|---|---|---|
| 主要構造材 | 土台 | 有 | ・主要構造材（柱・梁・桁・土台）にグループ指定の地域材を使用する<br>・合法木材認証制度の一部においては、産地が外国である事業者の為、必要とされる念書の入手が不可能であり、原木供給業者の登録を行っていない。このため、製材・集成材・合板製造と建材流通グループに所属する出荷者による合法性の証明によって代替えする |
| | 柱 | 有 | |
| | 梁・桁等の横架材等 | 有 | |
| 羽柄材 | 間柱、根太、垂木等 | 無 | |
| 造作材 | 枠材、廻縁等 | 無 | |
| 板材 | 壁板、床板等 | 無 | |

C 生産体制の整備と生産性向上に向けた取組み

| | | |
|---|---|---|
| ① 地域材の調達の共同化に向けた取組み | 有 | |
| 内容 | 本グループの建材・資材調達は流通事業者を一本化する事で統一する事とする | |
| ② 建材・特定資材の調達の共同化に向けた取組み | 有 | |
| 内容 | 本グループのネットワークを活かし川上から川下へ連携を高め、安定的な木材供給、建築資材を消費者提供できるよう、グループの共通認識として取組を進める | |
| ③ 地域材・建材・資材の在庫供給情報の共有化 | 有 | |
| 内容 | 事務局が中心となり、推奨建材リストを活用し、同一製品を大口で購入する事で、コストダウンを図る | |
| ④ 施工に関する統一ルール | 有 | |
| 内容 | グループ構成員で施工基準の研修会・勉強会を実施する事でグループ全体の質を高め、お施主様向けには本グループが供給する地域型住宅の仕様の提出、取り組みの説明、様々なセミナーを実施する事で信頼向上を図る | |
| ⑤ 住宅のメンテナンスに関する統一ルール | 有 | |
| 内容 | 共通の「履歴管理システム」を採用する事により維持保全計画の点検時期の配信を行い、適切なメンテナンス時期を施工業者及びお施主様に連絡をするように目指す | |
| ⑥ 施工検査（瑕疵担保責任保険の検査以外） | 有 | |
| 内容 | 本グループの施工業者は「施工責任者認定書」の交付を受けた者とし、必ず完成後に専用のチェックリストを提出するこのでお施主様の信頼向上を図る（WB工法） | |
| ⑦ 見積りに関する統一ルール | 有 | |
| 内容 | 性能基準（省エネ・耐震・劣化対策・維持管理等）が上がる事についての明確な費用を、お施主様に必ず説明を行う | |
| ⑧ その他の共通ルール | 無 | |
| 内容 | | |

D 効率的で適切な就業環境が確保された住宅生産体制の整備に対する取組み

| | | | |
|---|---|---|---|
| ① 週休2日制の導入の取組 | 有 | 内容 | 事務局が中心となり、グループ全体として週休二日制を導入する |
| ② 技能や経験にふさわしい処遇の実現に向けた取組 | 有 | 内容 | 事務局が中心となり、グループ全体として技能や経験にふさわしい処遇を目指す |
| ③ 社会保険への加入 | 有 | 内容 | 事務局が中心となり、社会保険加入の徹底に向けた環境整備をめざす |
| ④ 建設工事従事者の安全及び健康の確保のための取組 | 有 | 内容 | 事務局が中心となり、「社員健康第一」と考え、職場環境整備を目指す |

Ⅱ．平成３１年度の取組みの計画
（３）地域の産業・住文化・景観等に関連する計画

| グループ名称 | WB HOUSE 兵庫 | |
|---|---|---|
| H30採択グループ番号 | ― | ― |

A 地域の産業・住文化・景観等、和の住まいの取組みに関する対応

| | | | |
|---|---|---|---|
| ① 畳の活用 | 無 | 内容 | |
| ② 和瓦の活用 | 無 | 内容 | |
| ③ 襖・障子の活用 | 無 | 内容 | |
| ④ 地域の伝統的素材の活用 | 有 | 内容 | 各建築地域の地場産業を調べ、積極的に地場産業者を参加させる事で、地域の産業活性化を図る |

B 地域の住文化に関する取組み

| | | | |
|---|---|---|---|
| ① 地域の伝統的なデザインの継承 | 有 | 内容 | グループとして積極的に地域の伝統文化やデザインを継承する取り組みをします |
| ② 地域の住まい方の継承 | 有 | 内容 | グループとして積極的に地域住まいの継承につながるように活動します |
| ③ 地域の街並み形成への配慮 | 有 | 内容 | 地域の街並み・景観などのガイドライン・ルール等に沿い、建設現場でも地域材を利用していることと分かるように、地域に地域材のアピールを行う。特に姫路エリアの伝統的な街並みを形成に取り組む予定です |

C 被災地の復興に資する取組み

①東日本大震災・平成28年熊本地震・平成30年7月豪雨・平成30年北海道胆振東部地震の復興に資する取組み

阪神大震災で被災した事業者の経験を活かし、被災地グループにむけて積極的に交流を図り、工法以外にも様々な情報交換を行う

②地域型住宅の供給地域において災害等が発生した場合に検討している取組み

グループ一体となって災害時は復旧に努めます